

前会長挨拶

この紙面をお借りしまして、一言退任のご挨拶を申し上げさせていただきたいと思います。

2012年、平成24年に会長職を仰せつかりまして、以来、コロナの時を含め、合計13年間、至らない者でしたが、皆様方のご支援ご協力をいただき、やっとここまで漕ぎつける事ができました。

この間、この本部総会や、幹事会、又全国の各支部総会に出席する度に、その会場に満ち溢れる皆さん方の篤い篤い学芸愛に背中を押されて参りまし

同窓会顧問 西川 博行(6期)

た。そのパワーのお陰で、何とか職を全うする事が出来ました。心から感謝を申し上げます。ほんとにありがとうございました。

これからは野本新会長を先頭に、同総会活動が益々活発になることを切に願っております。

皆様方の今後共のご支援、ご協力を宜しくお願い致しましてご挨拶に代えたいと思います。

どうもありがとうございました。

『お礼とご報告』

期幹事 笹岡 悟(31期)

昨年8月2日に開催された「第60回高知学芸高等学校同窓会総会」の懇親会の幹事を31期が務めさせていただきました。昨年参加された方にはご認識いただけていると思いますが、あらためて、31期は修学旅行での事故を経験した学年です。

幹事を務めるにあたり、運営に携わる同級生達とまず考えたことは、総会という場所で事故のことに触れるかどうか、ということでした。そこに触れないなら自分達が幹事をやる意味がない、ということと同級生と確認し、当日は実際に現場で経験した者の当時の話と、31期がこの37年慰霊について行動してきたことを先輩や後輩のみなさん、先生方に向けてお話しさせていただきました。

正直言うと当日お集まりのみなさまにどう受け取られるのかは少し不安で、やっぱり覚悟が必要でした。ですが、結果としてご共感いただけた方々からたくさん励ましや労いの言葉をかけていただき、この発信に意味があったことを実感出来ました。どうか今後も「忘れてないよ」を学芸卒業生として一緒に共有してくれたらうれしいです。

その後のご報告としては昨年のBOX学芸の協賛広告で31期に預けていただいたお金は全額学校にお渡しして、メモリアルルームの傷んできていた写真とパネルの新調に使わせていただきました。集めたお金だけでは足りず、足りない分を学校が出してくれたこともご報告させていただきます。色褪せてきていた38年前の写真が今の技術できれいに復元されています。学校にお立ち寄りの際には是非メモリアルルームを覗いてみてください。

31期の気持ちを優しく受け止めてくれた先輩、後輩、先生方に感謝です。31期はこれからも進んで参りますので、今後ともよろしく願いいたします！

ありがとうございました！



2025(令和7)年度 同窓会本部役員名簿

(2026(令和8)年4月30日現在)

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
同窓会名誉会長	橋本 和紀	幹事 (21期)	南 直久	〃 (44期)	宇田 和正	<職場幹事>	
同窓会会長(21期)	野本 裕之	〃 (21期)	岡村 憲男	〃 (44期)	門田 知世	医師会 (17期)	森本 章人
副会長 (13期)	内田 隆夫	〃 (21期)	瀬川登和子	〃 (45期)	久禮田恵資	高知市役所 (25期)	山本 晋平
〃 (14期)	宮地 明	〃 (21期)	瀬川登和子	〃 (46期)	田井 龍太	高知銀行 (26期)	野島 隆志
〃 (17期)	森下 表	〃 (22期)	廣瀬 法民	〃 (46期)	畑 愛弓	〃 (27期)	宮崎 泰浩
〃 (19期)	大倉 啓司	〃 (22期)	山本 容正	〃 (46期)	森澤 真幸	高知新聞社 (29期)	高橋 誠
副会長兼支店長(18期)	中城 千秋	〃 (23期)	島本 泰志	〃 (47期)	久武 加奈	高知放送 (43期)	中澤 梨乃
校内幹事 (22期)	北川 智	〃 (23期)	丸岡 昭仁	〃 (47期)	津野 冬樹	四国銀行 (36期)	西川 一博
会計 (25期)	蒲原 宜彦	〃 (23期)	西山 徹	〃 (48期)	山口 実華	〃 (39期)	尾崎 亮
会計監査 (36期)	山田 游馬	〃 (24期)	大崎 博司	〃 (49期)	浦林 優	四国電力 (45期)	長井 和樹
常任幹事 (1期)	廣瀬 則光	〃 (24期)	松岡 洋介	〃 (49期)	磯野彩甫子	高知県庁 (39期)	福永 英世
〃 (6期)	福田 恵美	〃 (24期)	西村 裕之	〃 (49期)	田中 佐知	〃 (46期)	小島 章洋
〃 (19期)	浜田 祥夫	〃 (25期)	皆本 隆章	〃 (50期)	酒井 敦史	郵便局 (34期)	門田 大助
〃 (35期)	竹田 真史	〃 (25期)	麻岡 哲也	〃 (50期)	山本 昌博	高知医療センター(48期)	岡 雅輝
〃 (51期)	長谷川将大	〃 (25期)	田内 健一	〃 (51期)	明神 沙貴	テレビ高知 (45期)	玉木 佐和
顧問 (2期)	森木 弘道	〃 (26期)	恒石 裕司	〃 (51期)	長谷川将大	土佐市市役所 (47期)	武森 智也
〃 (6期)	西川 博行	〃 (26期)	三浦 啓史	〃 (51期)	岡本奈奈実	高知県警 (41期)	徳弘 友明
幹事 (1期)	渡辺 倫子	〃 (27期)	川添 哲嗣	〃 (51期)	刈谷 水月	室戸市役所 (38期)	山下 武史
〃 (1期)	原 絢子	〃 (27期)	田内 明彦	〃 (52期)	細木 葵	須崎市役所	
〃 (2期)	森木 弘道	〃 (27期)	高橋 英俊	〃 (53期)	森澤由有加	歯科医師会 (19期)	鬼谷 信美
〃 (2期)	伊吹 衛弘	〃 (27期)	井上 孝志	〃 (53期)	鍵本 奈緒	<支部幹事>	
〃 (3期)	野村 有弘	〃 (28期)	味元 浩子	〃 (53期)	小松明日香	関東支部長 (18期)	中城 千秋
〃 (4期)	竹本 光男	〃 (28期)	森岡 雅子	〃 (54期)	竹村香名子	〃 副支部長・事務局 (22期)	市川 浩幸
〃 (4期)	傍士 雅子	〃 (28期)	森下 亜理	〃 (54期)	筒井 理紗	〃 副支部長・事務局 (30期)	前田 泰志
〃 (5期)	桑尾 昭	〃 (28期)	西原敬治郎	〃 (54期)	山本 菜摘	土佐支部支部長 (25期)	合田 尚洋
〃 (5期)	日浦 暁洋	〃 (29期)	宮尾 聡	〃 (55期)	大原 慶斗	〃 事務局 (46期)	北村 崇
〃 (6期)	吉永 泰章	〃 (29期)	田原 央子	〃 (55期)	平山明香里	安芸支部支部長 (29期)	伊吹 卓哉
〃 (6期)	來 英昭	〃 (29期)	石崎たまも	〃 (55期)	前田 実耶	〃 幹事・事務局 (31期)	立仙 善久
〃 (6期)	大宮 正則	〃 (30期)	三宅 功泰	〃 (55期)	岡林 佑樹	室戸支部支部長・事務局 (26期)	松田 昌文
〃 (7期)	市川 俊一	〃 (30期)	市川 善久	〃 (56期)	田中 桃子	〃 幹事・事務局 (39期)	多田 知生
〃 (6期)	吉永 泰章	〃 (30期)	松本 直	〃 (56期)	酒井 芽衣	佐川支部支部長 (6期)	宇賀 茂敏
〃 (6期)	來 英昭	〃 (30期)	井上 肇	〃 (57期)	辻 知絢	〃 副支部長・事務局 (9期)	堀見 昇出
〃 (6期)	大宮 正則	〃 (30期)	田村 智志	〃 (57期)	田中 雄也	〃 幹事・事務局 (21期)	嶋崎 聖二
〃 (7期)	市川 俊一	〃 (31期)	笹岡 悟	〃 (57期)	中居実夏子	〃 幹事・事務局 (24期)	真辺 美紀
〃 (8期)	久保 美久	〃 (31期)	伊藤 真	〃 (57期)	都築 拓実	関西支部支部長 (12期)	関田 拓生
〃 (8期)	常條 美紀	〃 (31期)	片岡 淳	〃 (58期)	高野 翔太	事務局局長 (25期)	山岡 聖子
〃 (8期)	東石 新	〃 (32期)	浜田聖一郎	〃 (58期)	富川 睦	香美支部支部長 (23期)	北岡 修
〃 (9期)	村上 純一	〃 (32期)	森山 宏一	〃 (58期)	近森 美友	〃 副支部長・会計・事務局 (23期)	三谷 隆博
〃 (9期)	井上 省子	〃 (32期)	松本 善行	〃 (59期)	島崎 岳冬	中国支部支部長 (22期)	中平 洋政
〃 (9期)	鈴木佐知代	〃 (32期)	小松 裕典	〃 (59期)	中川 実優	〃 事務局 (25期)	平石 浩治
〃 (10期)	小松 隆志	〃 (33期)	田所 宏之	〃 (59期)	磯田 瑞貴	香南北南国支部支部長 (13期)	村山 龍一
〃 (10期)	門田 義仁	〃 (33期)	森本 道義	〃 (59期)	塩田 哲平	〃 支部事務局 (14期)	國沢 一之
〃 (10期)	大黒久美子	〃 (33期)	川谷 知世	〃 (60期)	尾原 翔	西南支部支部長・事務局 (26期)	上岡 太郎
〃 (11期)	栗田 寛	〃 (34期)	山田るりこ	〃 (60期)	竹村 大輔	〃 副支部長・事務局 (39期)	山下 量子
〃 (11期)	勢田 博之	〃 (34期)	中須賀晃典	〃 (60期)	柴 立樹	中村支部支部長・事務局 (17期)	岡本 啓一
〃 (11期)	森田 英二	〃 (35期)	都築 弘典	〃 (60期)	戸梶 友理	徳島支部支部長 (15期)	鎌田 義人
〃 (12期)	坂本 紀子	〃 (35期)	前田 和貴	〃 (61期)	田村 陸樹	〃 事務局 (20期)	岡崎 孝博
〃 (12期)	大妻 敬典	〃 (35期)	尾原 綾乃	〃 (61期)	萩原 里保	中部支部支部長 (6期)	國澤 英雄
〃 (12期)	久禮田 徹	〃 (36期)	川村和賀子	〃 (61期)	西村 朋花	〃 事務局 (45期)	久禮田恵資
〃 (12期)	仁井田豊志	〃 (36期)	橋本 和英	〃 (62期)	伊勢脇華步	愛媛支部支部長 (6期)	東 俊一
〃 (13期)	内田 隆夫	〃 (36期)	杉村 真理	〃 (62期)	田部安哉音	〃 事務局 (45期)	東 翔
〃 (13期)	北村 明久	〃 (36期)	結城 諭	〃 (62期)	長峯 穂香	高幡支部支部長 (18期)	高和 佳夫
〃 (13期)	森澤 敏博	〃 (37期)	藤江 亮介	〃 (63期)	中内 優輔	〃 事務局 (22期)	吉本加津代
〃 (14期)	山崎 勝彦	〃 (37期)	山崎 陽也	〃 (63期)	吉岡 歩	シガポール支部支部長 (8期)	井上 雅文
〃 (14期)	池 昭満	〃 (37期)	上山めぐみ	〃 (63期)	宮崎 壮太	<クラブOB会>	
〃 (15期)	桑名 久栄	〃 (37期)	雨森 英高	〃 (63期)	近井 塔子	ソフトテニス部会長 (3期)	松本彰二郎
〃 (15期)	松田 康司	〃 (38期)	濱田 知加	〃 (64期)	濱田 莞太	体操部会長 (2期)	宇賀 敏雄
〃 (16期)	品原 弘子	〃 (38期)	安井 公子	〃 (64期)	市川 桃子	山岳部会長 (34期)	溝渕 泰介
〃 (16期)	青木 順平	〃 (38期)	山下 武史	〃 (64期)	八木 勇樹	弓道部会長代理(37期)	上山めぐみ
〃 (16期)	山崎 正男	〃 (39期)	山中 崇之	〃 (65期)	溝渕ひより	吹奏楽部会長(23期)	三谷 安宏
〃 (17期)	田中 健一	〃 (39期)	森田 浩路	〃 (65期)	山本 幹朗	バレーボール部事務局 (21期)	岡村 憲男
〃 (17期)	三谷 浩	〃 (39期)	琴賀岡朋志	〃 (65期)	山脇 萌生	柔道部会長 (19期)	谷本 博昭
〃 (18期)	竹崎 優子	〃 (40期)	藤原 佳奈	〃 (65期)	近澤 祿寧	コーラス部会長(13期)	森岡 俊厚
〃 (18期)	小野 真知	〃 (40期)	大石 宗	〃 (66期)	佐野 愛夏	バドミントン部事務局(14期)	沖原 光明
〃 (18期)	松崎 真知	〃 (41期)	山崎 恭子	〃 (66期)	神岡 早希	ソフトボール部会長(28期)	堀見 和道
〃 (19期)	大原 正典	〃 (41期)	橋村 志穂	〃 (66期)	高橋 功一	映画研究会会長(60期)	横山 愛衣
〃 (19期)	橋詰 淳	〃 (41期)	西内 隆純	〃 (66期)	吉川 虹	剣道部会長 (19期)	吉井 太一
〃 (19期)	野村 正信	〃 (42期)	田所 裕康	〃 (67期)	森澤 美咲	華道部会長 (25期)	筒井 由佳
〃 (19期)	浜田 祥夫	〃 (42期)	河野 愛	〃 (67期)	佐々木陽仁	陸上競技部事務局 (45期)	上田 貴大
〃 (20期)	久保 公晶	〃 (43期)	熊澤 育恵	〃 (67期)	森光 美羽	卓球部事務局(25期)	蒲原 宜彦
〃 (20期)	龍尾 博章	〃 (43期)	山本あゆみ	〃 (67期)	小原 悠	放送部会長 (66期)	越智洗太郎
〃 (20期)	松本 敏	〃 (44期)	天野 絵梨				

会員からの返信<31号>

- ＝楠瀬 東洋 1期B組 千葉県野田市
「BOX学芸」ありがとうございます。毎年楽しみに待っています。
- ＝西内 昭雄 1期C組 埼玉県新座市
会報送付ありがとうございます。元気に過ごしています。
- ＝恒石(山中)美智子 1期D組 香南市
運転免許証返納しましたのでとても不便になりました。買物は無料の市バスがむかえにきてくれるのでお世話になっています。お世話になることが多くなってきました。
- ＝伊富貴(安藤)美智子 2期B組 滋賀県彦根市
二人の孫も社会人になり、その姿に元気をもらっています。
- ＝宇賀 康健 3期E組 東京都板橋区
「BOX学芸」毎年の楽しみです。
- ＝辰川(川崎)眉美 4期D組 広島県三次市
今年も会報をなつかしく読ませていただきました。有難うございました。
- ＝北村 秀夫 4期E組 香南市
今年も「BOX学芸」ありがとうございます。毎号楽しみにしています。
- ＝追永(酒井)章子 5期A組 大阪府池田市
いつもお世話になります。楽しく読ませていただいています。
- ＝石川(岡林)弘子 5期B組 高知市
毎年、楽しみにしています。
- ＝芳賀(高橋)三重 7期D組 静岡県静岡市
いつもありがとうございます。
- ＝和田 守正 8期A組 南国市
皆様の御清栄をお祈り申し上げます。
- ＝岡本 純一 8期D組 高知市
いつもご苦労様です。
- ＝枝重 泰三 8期E組 香南市
残る何年受取れるのか?宜しく!ありがとうございます。
- ＝篠田 邦裕 9期D組 千葉県佐倉市
「BOX学芸」毎年懐しく拝読。「内に烈々たる熱情を秘めて、諸君頑張り給えね。終ります。」(毎週月曜校庭での朝礼にて)第3代校長佐野正太郎先生(当時は学年主任?)の激励を懐しく思い出します。南国土佐を後にして、都に来てから幾歳ぞ。同窓生の皆さん、元気にしてますか?
- ＝高井 雅夫 9期D組 静岡県静岡市
皆さん、御苦労様です。
- ＝武田(金子)富美 9期F組 高岡郡日高村
いつもお便り、ありがとうございます。
- ＝長尾(福永)恵子 9期F組 宮崎県東臼杵郡
宮崎に住んで50余年、高知が遠くなりました。「高知」のキーワードにアンテナはっています。
- ＝東川 正二郎 10期E組 東京都北区
いつも楽しみにしています。ありがとうございます。
- ＝河岡(渡辺)照代 10期F組 神奈川県座間市
「BOX学芸」いつも楽しみにしています。ありがとうございます。
- ＝竹島(金岡)定江 11期B組 高知市
毎夏に送られてくる会報によって青春時代にプレイバックして、更にこれからの老い先に想いをはせています。
- ＝田村 麻美子 11期D組 吾川郡いの町
同窓生、在校生の笑顔がいいですね。
- ＝宮崎 光生 12期C組 東京都江戸川区
12期のみなさん、そして、高知学芸養成寮の寮友のみなさん、「お元気ですかー」。すばらしい青春でした。なつかしいですね。
- ＝小松(松田)みどり 12期E組 東京都北区
今年も七夕の日に届きました!なつかしくうれしい。BOX学芸ありがとうございます。同窓生みなさんのご多幸をお祈りいたします。
- ＝徳広(山本)佳子 15期F組 神奈川県川崎市
会報ありがとうございます。昨年10月の同窓会、西田先生、尾崎先生、なつかしい面々と会えて、本当に楽しくうれしかったです。最後に歌った校歌、1番はしっかり覚えていました!次の同窓会、楽しみに待っています。
- ＝岡本 拓己 21期B組 高知市
学芸を卒業して45年。その当時、男子は坊主頭でした。在学中、友達がなかなか出来ず悩んでいましたが、その事に気にかけて声をかけてくれた仲間がいた事はうれしかったです。
- ＝正木 安奈 26期E組 高知市
いつもありがとうございます。
- ＝水口 早苗 36期E組 宮城県仙台市
いつもありがとうございます。

令和7年度収支決算報告書(案)

(R7.6.1~R8.5.31)

高知学芸高等学校同窓会

未

会報全員配布

693人から発行協力金

「BOX学芸第31号」は例年通り、会員名簿を頼りに同窓生に郵送・配布しました。その際、これまで同様、発行協力金のお願いをしましたところ、693人から貴重な援助をいただきました。どうもありがとうございました。

そして、振込用紙には母校と同窓会への思いのあふれたメッセージが添えられていました。その一部を採録して、お礼に代えさせていただきます。

住所不明、返送にご注意を

※最近、会員の住所不明者が続出しています。住所変更や転送の有効期限は1年間ですから、同窓会、郵便局に住所変更を届け出るか、1年後に郵便局に転送の延長願い（「手続き延長届け」）を出してください。元の住所に保護者が住んでいても「住所不明」になり会報が届きません。

ありがとうございました

なお、ご協力のお願い

皆様のご協力で毎年、会報が継続、発行されています。その一方で、発行にはかなりの費用もかかっています。引き続き、お構いのない範囲でのご支援、ご協力をお願いする次第です。

「32号」でも、発行協力金のお願いのための振込用紙を同封させていただきました。一口1,000円、何口でも結構です。ぜひ、よろしくお願いします。

会長 野本 裕之（21期）



訃報

皆様のご逝去を悼み、謹んでお悔み申しあげますと共に、心からご冥福をお祈り申し上げます。

未

この1年間に連絡があった方です（敬称略）。漏れがあれば同窓会事務局へご連絡ください。

佐川 高知に帰ってきて

山下(中村) 美和 (21期)

35年離れていた高知に帰ってきて、地元の学芸高校同窓会佐川支部総会に参加しました。

私は、学芸中学、学芸高等学校に通っていた時には剣道部に入っていて剣道三昧の生活を送っていました。稽古は大変だったけど面白さもあってとても楽しい学生生活でした。現在は剣道から離れてしまったけれど、あんなに熱中することはもうないかなと思います。

高知医科大学医学部に進学し、卒業してすぐ主人の実家に近い静岡県浜松市の浜松医科大に就職し、以来35年高知から離れて暮らしていました。今回私の母と暮らすため高知に帰ることにしました。帰ってみるとやはり静岡に比べて不便なことが多く驚きました。しかしだんだんと田舎暮らしにも慣れてきて、これはこれでいいのかなと思うようになりました。静かで自然が残っていて、少し車で走れば必要なものは手に入るし、のんびり暮らせる感じです。

私は産婦人科医なので分娩施設の減少、分娩数の減少が著しいことに驚きました。小学校も私が在籍していたころの1/3に減少しており、閉校となった学校も



あちこちにあるようです。なんとか人口減少に歯止めをかける方法はないかと思います。出産するにしても高年初産が増加し、そのリスク(妊娠中の心筋梗塞、脳梗塞、糖尿病、体外受精による癒着胎盤など)、また分娩しないことによる乳がん、子宮体癌の増加リスクなどももっと周知されるべきだと思います。

(お産でなくても女性には特有の悩みや病気があります。産婦人科に行くのは好きでない方が多いと思います。私は高北病院で(月)(金)に産婦人科外来を行っていますので楽な気持ちで受診してください。)

あと何年動けるかわかりませんが残りの人生元気に過ごせたらと思っています。学芸高校同窓会への参加を楽しみにしています。またお会いしましょう。

安芸 安芸支部総会開催

幹事(事務局担当) 立仙 善久 (31期)

2025(令和7)年6月7日(土)に安芸市のホテルタマイにおいて第18回高知学芸高校同窓会安芸支部総会を行いました。ブロックからの参加者は15名、同窓会本部より西川博行会長(6期)、浜田祥夫常任幹事(19期)をはじめ学校より宮本進一教頭先生(英語)、蒲原宜彦先生(英語・同窓会会計兼任)そして室戸支部より松田昌丈支部長、多田知生幹事、橋本さんがおいで下さり、大盛況の開催となりました。

今年は役員改選の年でしたのでお諮りしたところ以下のメンバーになりました!伊吹卓哉支部長(29期)、南典明会計幹事(16期)、立仙善久幹事(31期)、伊吹衛章顧問(2期)、立仙耕一顧問(2期)、2年間よろしくお願ひ致します。

当日は進行に何かと不備な点もありましたが、ご参



加いただいた皆様のおかげで大盛況の会にすることが出来ました。この場をお借りして御礼申し上げます。

当ブロックは毎年6月の第1土曜日の開催になります。今後ますます盛り上げていきたいので皆様のご参加をお待ちしております。

徳島 徳島支部総会を開催しました！

徳島支部事務局 岡崎 孝博 (29期)

令和7年6月21日、JR徳島駅前「阿波観光ホテル」において、徳島支部総会を開催いたしました。残念ながら今回は、母校のオープンキャンパスなどのイベントとバッティングし、校長先生らのご出席は叶いませんでした。

さて、総会では例年懇親会に先立って、会員による「特別講演」を行っています。前年の演者である山本圭・徳大教授(29期)のご指名を受け、今回は私が「徳島の「海の幸」と題して、拙い講演をさせていただきました。県を代表する季節ごとの魚介類について、食材としての魅力などをお伝えするとともに、その昔取り組んだ「ハモ」の研究について専門的な話もさせていただきました。その後の懇親会では、鳴門鯛の「背骨こぶ」、ボウゼ、アジアカエビ、アオリイカ、韓国産ハモなどに関して、突っ込んだ話、情報交換などができ大変有意義でした。

中締めはいつもの「学芸賛歌」を合唱！大いに盛り



上がり、出席者の皆様とともに楽しい時間を共有することができました。ただ、以前は徳島大学など学生の皆様にも総会へ出席してもらっていたのですが、昨今は連絡先に関する情報を収集できていない状況です。支部の活性化には学生など若者の出席が不可欠だと考えます。こうした課題を乗り越え、魅力ある徳島支部にしていきたいので今後ともご支援をよろしくお願い申し上げます。

香美 第27回香美支部総会を開催しました

支部長 北岡 修 (23期)

2025年7月26日、第27回総会を総勢28名で開催いたしました。

同窓会本部からは、西川博行会長(6期)、内田隆夫副会長(13期)、森下 表副会長(17期)が、学校からは、島本泰志教頭先生(23期)が参加されました。今回も他支部との交流も行われ、香南嶺北南国支部の村山龍一支部長(13期)、國沢一之事務局長(14期)が参加いただきました。安芸市からは、今年も浜田祥夫氏(19期)が参加されました。

新役員になり初の総会をむかえるにあたり、ニューステターの編集から当日の準備まで役員、OBのご協力無しには整えることはできませんでした。皆様のご尽力に感謝を改めて申し上げます。

今回は、店のご好意で広い席を用意してもらい、懇親を深めることができました。議事は、支部長進行のもと会計・監査報告に承認をいただいた後、西川会長のご挨拶、島本教頭先生から学校の近況、現役生の各方面での活躍を披露いただきました。

西川会長におかれては、翌8月の同窓会本部の総会を控えた時期に、また例年当支部は「真夏の総会」、厳しい暑さのなかご出席をいただきましたこと、改めて



総会出席者

御礼を申し上げます。お疲れ様でございました。

記念写真のあと、懇親会に・・・、締めに学芸賛歌の合唱・・・の段取りのはずが、今回は小花倫子(9期)先輩のマンドリン伴奏のもと乾杯前に自発的に輪になり讃歌の大合唱。これもまたありかな(笑)と。あとは、近況や時事問題(?)など、硬軟入り混じった話題に盛り上がりました。毎年ながらの課題である、交流活動や総会への新たな参加者の呼びかけなど、進めていきたいと思います。とはいえ、秋には松尾禎之先輩(12期・松尾酒造)の酒蔵での新酒会への参加、年明けて新年会の開催とつづく香美支部であります。引き続きよろしくお願い申し上げます。

中村

中村支部では、毎年8月に支部総会を行い、2月から3月に懇親会を開催しています。

以前は30人程の参加があり、賑やかな総会、懇親会の開催ができていましたがコロナ禍以降、参加者が減少傾向になり、支部活動の活性化が課題になっています。



2025年8月29日第13回中村支部総会



2026年3月6日春の支部会

幹事 廣瀬 正明 (19期)

引き続き参加して下さっている皆さんと楽しく親睦を深めながら、役員を中心に、参加の声掛けや新たな会員の情報収集等を行い参加者の増加、支部の活性化を目指しています。

8月には、今年も中村支部総会を行いますので、皆様のご参加よろしくお祈りします。

私の近況もお知らせします。

4年前、近所に野良猫が増えて、地区の困りごとになっていたのを区長の声掛けで地域猫活動を始めました。

30頭ほど避妊去勢手術をした後、手術をした猫に朝晩エサを与えていると、やせた猫が多かった地区に太った猫が増え始めました。

4年経って、近所の野良猫は減り始めましたが、私の家に6頭の猫が住み着いてしまいました。

家族はみんな猫好きなので、まあいいかなと思っていますが毎朝5時前から騒ぎだすのには困っています。



西南 第17回西南支部総会開催

西南支部は、宿毛市・土佐清水市・大月町・三原地域出身及び在住の中学高校同窓生を中心に活動を行っています。

令和7年11月1日(土)に、同窓生の関連企業である宿毛市の八坂において、「西南支部総会」を行いました。また同日に土佐ユートピアCCにて同窓会コンペを開催しました。総会においては「事業報告」「会計報告」「事業予定」等、議案は全会一致で承認されました。

総会終了後の懇親会には、同窓会本部より野本裕之会長(21期)、森下表副会長(17期)が、学校からは、宮本進一教頭(英語)、北川智先生(英語・同窓会校内幹事兼任)が参加されました。個人参加で、浜田祥夫氏(安芸支部、19期同窓会常任幹事)と岡本啓一氏(中村支部、17期)が合流して下さり大盛会となりました。

西南支部は、年に1度の総会及び懇親会が主で、少人数での活動となっています。今回は久しぶりにゴルフコンペが開催出来ました。今後も恒例行事に出来ればと考えています。これまでに参加が出来ていない方や、今後、転勤やUIターンで幡多地域に来られること

支部長 上岡 太郎 (26期)



になった方は、是非一度ご参加して頂ければ、人脈の広がりや何かお役に立てる場面もあろうかと存じます。

次回の総会及び懇親会予定は、現時点では未定です。(日程等詳細は決まり次第、同窓会ホームページ、はたもーらなどに掲載してお知らせ致します。)気軽な会ですので、これまでご参加になられていない方も是非一度ご参加下さい。お問い合わせは(kamioka.taro@inanhp.jp)西南支部長上岡まで。

香南・嶺北・南国 支部総会の開催について

事務局長 國 沢 一 之 (14期)

昨年10月11日(土)に南国市の「レストラングドラック」で第20回記念香南・嶺北・南国支部総会を開催しました。

総会では、古稀を迎える15期生に記念品として校章入り木製スマホスタンドをお渡しした。私も一昨年にももらったが、ユーチューブで音楽を聴いたり、レシピを見ながら料理するのに良いらしく、うちではもっぱら奥さんが使っている。

懇親会では、来賓の島本泰志教頭先生と野本裕之同窓会会長からご挨拶をいただいた。今回は来賓席を作らずそれぞれの期の席で親睦を深めてもらうことにし、皆さんの好評を得た。

同窓生の久里きなこさん(本名:伊野部京子さん、23期生)の「ふるさとコンサート」が今年、令和8年7月5日(日)に県民文化ホールで開催されることを聞いていたので紹介した。

香美支部の北岡支部長のご発声により懇親会が始まり、お開きの「学芸讃歌」の合唱まで楽しく懐かしい時間を共有することができた。

参加者は前年とほぼ同じ54名であった。参

加を増やす取り組みとして、3年前からその年に40歳、50歳、60歳になる支部同窓生を名簿で確認し、その全員に案内を送っている。一昨年その効果があったので、今しばらく続けてみようと思っている。

支部総会は、同期だけでなく幅広い年代に親睦を図っていただいている。先輩後輩はもとより、同窓の兄弟姉妹や親子で参加してもらえるような会にしていきたい。

高知学芸高等学校同窓会 香南・嶺北・南国支部総会



第20回記念香南・嶺北・南国支部総会記念写真

土佐 第26回土佐支部総会開催

森岡 千晴 (51期)

令和7年11月15日(土)、第26回土佐支部総会・懇親会が割烹松尾にて開催され、総勢68名が集まりました。私は約5年ぶり2回目の参加で少し緊張しつつ階段を上がりましたが、役場をはじめ土佐市で日頃からお会いする皆さんとこのような形で再会することが何だかとても嬉しく安心感が溢れてきました。

39期の森田浩路さんの陶芸家・文化の発信者としての講演や、創立70周年のイベント告知、そして日頃新聞等でも目にする現役の皆さんの活躍を通して感じているのは、一つひとつの歩みを大切に仲間と挑戦と進化を積み重ねている力強さです。

私自身、学芸高等学校時代に勉強の仕方でもですが、文化祭の映画制作を通してはクラスメイト先生方と、どうやったら実現させることができるのかとワクワクしながら向き合えた経験が、今も仕事や地域活動の中で活かしています。

会の中では近況を語り合い、そして先輩たちがかけ



てくれるあたたかいエールに、この学芸の力強さとあたたかい空気を自分も大事に繋いでいきたいと改めて感じたことでした。

やはり世代を越えた皆さんがこうして集うことができる支部会の開催は尊く、段取りいただいている役員の皆様へ感謝申し上げると共に、また皆さんに元気にお会いできることを楽しみに日々を頑張っていきたいと思っております!ありがとうございました!

関東 総会を起点に広がる同窓生のつながりを目指して

常任幹事 藤原 清幸 (36期)

2025年10月25日、東京都内の日本プレスセンタービル内レストラン「アラスカ」にて、第38回同窓会関東支部総会を開催し、下一桁が5の期が運営を担当しました。来賓として、同窓会本部より野本裕之新会長、森下表副会長、大倉啓司副会長、学校からは橋本和紀校長先生、松本直人事務長、蒲原宜彦先生をお迎えし、1期生から59期生まで総勢93名が参加しました。

総会では活動報告、会計監査報告に続き役員改選



幹事の25期の皆さんと恩師の瀧石誠司先生(最前列左)

が行われ、中城千秋支部長をはじめ全員が留任しました。特別授業では野中恵子氏がトルコの歴史について講演され、多くの関心を集めました。幹事の25期が恩師の瀧石誠司先生を総会にご招待し、野中さんや参加者同士が思い出を語り合う和やかなひとときとなりました。なお、瀧石先生は昨年12月に急逝されました。つつしんでご冥福をお祈りいたします。

懇親会では松田恵子氏によるフラダンスやビンゴ・クイズ大会、よさこい鳴子踊りなどが行われ、大いに盛り上がりました。また、卒業50年を迎えた皆様を祝福し記念品を贈呈しました。最後に「学芸讃歌」の大合唱で盛会のうちに中締めとなりました。

関東支部では、このような年に一度の総会にとどまらず、日常的な同窓生のつながりを広げる活動にも力を入れており、里山トレッキングクラブや、昨年から開始したゴルフコンペ「あさかぜゴルフ会」などの取り組みを進めています。今後も総会を起点に広がる同窓生のつながりをさらに深めてまいります。なお、次回の総会は2026年10月31日、アルカディア市ヶ谷にて開催予定ですので、ぜひご参加ください。

中部 中部支部だより

事務局長 久禮田 恵資 (45期)

今年に入り、イラン情勢により名古屋ではトヨタの自動車輸出が中東へできず、中部経済への影響も出ています。昨年度は、同窓会本部役員や学校関係者、来賓の松尾酒造・松尾禎之社長(12期)を迎え、第10回記念中部支部総会が盛大に開催されました。報告では、國澤支部長よりハガキ返信率が約40%に留まる現状と、郵便料金値上げを見据えた「LINE会員の拡大」という課題が示されました。また、同窓会本部の野本裕之会長からは学芸特有の「縦横の結束の強さ」について、村上俊浩教頭からは国際交流やクラウドファンディングによる設備拡充など母校の近況報告がありました。

松尾社長による特別講演では、波乱万丈な半生や高知の酒文化が



イベント「東海道歴史巡り(鳴海～有松散策)」

ユーモアたっぷりに語られ、大きな反響を呼びました。4月5日には第2回イベント「東海道歴史巡り(鳴海～有松散策)」を開催し、東海4県から6期～45期の10名が参加。有松絞りで財を築いた豪商の屋敷や江戸から明治の街並みを楽しみました。宿場町は鳴海、土産を求めるのが有松だったようです。散策後は懇親会で近況や思い出話に花を咲かせ、親睦を深めました。

今年度の中部支部総会は11月7日(土)です。

支部会員以外の方も、全国からのご参加をお待ちしております。



イベント「東海道歴史巡り(鳴海～有松散策)」懇親会

中国 中国支部だより

岩目地 国泰 (26期)

みなさん、こんにちは!26期の岩目地国泰です。

高松市内で土佐料理店「高知家(こうちや)」を営んでいます。2026年香川支部立ち上げ(中国支部と合同を視野に)準備中です。そのため2025年の中国支部総会・香川県の総会、懇親会に参加してまいりました。岡山市内のピュアリティまきびにて、同窓会本部の野本裕之会長、森下表副会長、学校からは橋本和紀校長、北川智先生、助村隆先生の参加で本部、学校、支部と一体となった会で楽しい時間を過ごしました。

さて、私たち26期は今年、ついに還暦という節目を迎えました!丙午(ひのえうま)生まれとして心機一転……と思っていた矢先の2024年秋、同級生で室戸支部の松田支部長から「香川支部を立ち上げてくれ!」と熱い(?)ご指名をいただきました。

正直、大役に戸惑いもありましたが、中国支部の平石事務局長夫妻からも「香川と中国支部、一緒に盛り上げていこう」と心強い後押しをいただき、昨年11月の中国支部総会を経て、いよいよ本格的に動き出すことになりました。現在は平石さんのご指導を仰ぎつつ、同じく26期の岡田さん、濱田さんと私の3人でタッグを



2次会終了後の記念写真

組み、ここ高松での総会開催に向けて準備を進めています。還暦トリオで力を合わせて頑張ります!

中国支部の皆様はもちろん、香川在住の同窓生の皆さん、この新しい門出を一緒に楽しみませんか?具体的なことはこれから詰めていきますが、まずは高松での再会を期して。還暦を機に、また皆様と新しい絆を紡げることを、メンバー一同楽しみにしています!

室戸 室戸支部だより

事務局 多田 知生 (39期)

令和7年12月6日(土)に室戸支部総会を開催いたしました。

同窓会本部会長、学校長をはじめ、同窓会担当の先生方、そして安芸支部・中国支部の皆様にもご出席いただき、多くの皆様が一堂に会しました。

会は終始和やかな雰囲気の中で進み、卒業生同士の懐かしい話や近況報告に花が咲き、笑顔あふれるひとときとなりました。学校で培われた絆が、今も変わらず温かくつながっていることを改めて感じた一夜でした。

室戸支部では毎年12月の第一土曜日に総会を開催しております。今後も皆様との交流を大切にしてい



ます。室戸にお越しの際は、ぜひ支部の集まりにご参加ください。参加希望の方は同窓会または室戸支部幹事へご連絡ください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

広告

関西

未

広 告

広 告

高幡 高幡支部だより

支部長 高 和 佳 夫 (18期)

第5回の高知学芸高校同窓会高幡支部総会が、毎年9月の第3土曜日開催としていることから、令和7年9月20日(土曜日)18時から須崎市南古市町の喜楽で開催されました。参加者は、学校、同窓会本部からのゲストを含め総勢15名で、学校からは橋本和紀校長先生、同窓会本部からは野本裕之会長と宮地 明副会長にご参加いただきました。人数は少なかったのですが、締め学芸讃歌は盛り上がり、来年の再会を誓い解散しました。

けんど、やっぱり人数が少ないと寂しいな。みんな、毎年9月の第3土曜日に須崎市南古市町の喜楽で開催しゆうで。まだ来たことない人には案内状もよう出してないき、来にくいかもしれんね。でもぜひ来てほしいき、えい方法があったら教えて。わたしもなんかないか考えないかんとおもいゆう。



高幡支部総会に出席の皆さん

同窓会の支部総会は「えいかつこしない」会になれば良いなと思って、自分もちゃんと参加しゆうき、毎年9月の第3土曜日になったら、ぜひ顔を出してや。老若男女、ゆっくり交流しましょう。

おめでとうございます

令和7(2025)年の秋と令和8(2026)年の春の叙勲・褒章で、次の卒業生人が晴れの受章に輝きました。各界での長年の功績が評価されてのものです。

おめでとうございます(敬称略)。

令和7(2025)年「秋の叙勲・褒章」

- ・黄綬褒章 嶋崎勝昭 (19期)
晃立社長



令和8(2026)年「春の叙勲・褒章」

- ・瑞宝単光章 岡崎昭憲 (20期)
矯正業務の功績
- ・紫綬褒章 松田祐司 (19期)
米国ロスアラモス国立研究所
上級研究員、京都大学名誉教授
- ・旭日双光章 田中 全 (12期)
元四万十市長
- ・瑞宝双光章 田中 智 (1期)
元日本郵政公社職員
<特定郵便局長>
- ・瑞宝双光章 池本 任 (1期)
元徳島大学総務部長
- ・瑞宝双光章 西川 裕泰 (16期)
元四国経済産業局
産業部長



「東京」

中村 秀臣 (1期)



昭和35年春、大学入試に落ちた私は、東京の予備校に入るため準急南風に乗った。乗ってはみたものの、未知の都、東京は怖かった。

当時我が家ではテレビも無く、東京の日常をよく知らなかった。そんな吉幾三の世界から東京を知る

唯一の手段は映画であったが、映画の中では、裕次郎扮する太陽族がジャックナイフを振り回していた。母も「すれ違う時、相手の目を見たらいかんぞね」と脅かす。

とにかく地方出を悟られぬ様にと、東京駅に着くまで標準語喋りの訓練をした。「雨」や「朝」を語頭を高くして発音してみた。如何にも気障で、そう喋る自分に虫唾が走った。

予備校の学生証用の写真を撮った時、写真館の女主人が「大阪からいらっしたの?」と訊いた。地方出である

事が即バレであった。

街では、ダッコチャンを腕に着けた女性が闊歩していた。政治では、安保闘争で6月、デモ隊の国会突入と樺美智子さんの死亡事故が、10月、浅沼委員長の刺殺事件が起きた。

こんな中、秋の東京六大学野球で早稲田と慶応が同率首位となり、後々までの語り草となる“あの6連戦”で早稲田大学が優勝した。

この日の夕方、池袋から乗った電車の中で、角帽姿の早大生に見ず知らずの乗客達が「今日の試合は凄かったね」などと声を掛けていた。皆、大学生のひたむきさに感銘を受けていたのだ。東京への私の恐れは杞憂であった。

翌年3月、北海道大学に合格した。帰路、繁藤駅から高知平野まで一気に滑り降りた爽快感は今でも忘れない。65年前の事である。

MUSIC VIDEOに俳優出演、YOUTUBEにUPLOADされました 田尾 圭祐 (18期)



40年の会社勤めを終えリタイアの身ですが、一昨年学芸同窓会で同期の松浦佐智さんからモデルのアルバイトを紹介され、昨年11月にヴォーカル・ギター役でMVへの出演が決定、撮影も完了し、12月にリリースされました。原音演奏者は

PK SHAMPOOというパンクロックバンドで楽曲はBAD BOYS BLUE。MVは学生時代のバンド仲間4人が深夜に母校に侵入し、勝手に楽器を持出して演奏をするという設定です。

今回私達は音を出していませんが、こうした音楽表現をする原点を思い出しました。中3から高1まで、住友弘一先生の音楽授業です。課題は常に『どんな…ジャン

ル、楽曲、楽器、パートナーとでもいいから演奏・歌唱する』でした。私はもっぱらヴォーカルがほとんどでしたが、サイモン&ガーファンクルやビートルズの楽曲で、ギターを山下哲夫君や堀部幸祐君(故人)にピアノを天津玲子さんをお願いしたことが思い出されます。伊勢田正澄君(故人)とロックバンドを結成したこともありましたが、忘れてならないのはすぐ横に後のスーパーstar織田哲郎がいました。休憩時間に仮設教室の踊り場に仮置きされたピアノを彼が弾き、私がイマジンやレットイットビーを何度か歌いました。

私の音楽に関わってくれた先生と皆さんに改めて感謝するとともに、故人のご冥福をお祈りいたします。

間もなく古希を迎えますが、またチャンスがあればチャレンジしたいと思います。

広 告

中京大学より

野田 智洋 (24期)

30年間勤務した高知大から、名古屋市を拠点に約14000名が学んでいる中京大学に移って、はや6年が経ちました。学生数が最も多いスポーツ科学部では3000名の若者が豊田キャンパスで切磋琢磨しています。本学は創立者の奥様がオリンピックであったことから、建学の精神に「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」を掲げており、古くからスポーツ振興に力を入れてきました。学園の設立から100年を超える伝統があり、西日本を中心に多くの体育教員を輩出しています。先日行われたミラノ・コルティナ五輪にもOBを含む10名の選手が参加し、現役学生ら6名がメダリストになっています。過去のオリ・パラ出場者は夏冬通じて110名を越えたそうです。

池・北川先生と同郷の私は学芸中学で体操部に入り、高校大学と選手を続けて高知に帰りました。社会人になってから国体選手として北海道にも派遣されました

が、所詮は三流選手。インタハイにも出場できなかった自分が、メダリストを複数輩出している中京大学体操競技部の部長になるとは思いもしませんでした。42歳から博士課程に進学し、学位を取ったことが今に繋がっています。担当している授業は器械運動の実技を中心にゼミで卒論指導をしており、生成AIで書いてくる学生への指導に苦心する毎日です。

4年ほど単身赴任でしたが現在は妻と二人で名古屋市内に住んでおり、居酒屋で飲んで歩いて帰れる都会暮らしを楽しんでいます。



『あんばん』ロケ地

黍原 美喜子 (25期)

「良い場所ですが、この川の色がね……」ロケハンスタッフの呟きに、「ここに畑を作れば、ロケ地に決まりますか?」と思わず聞き返していました。

令和5年秋、香美市出身のやなせたかし先生をモデルとしたNHK連続テレビ小説『あんばん』の製作が決定。翌令和6年春、市職員の私は、前例のない「ロケ用の畑作り」引き受けるべきか、これは仕事なのだろうかと自問自答していました。ロケ地は機密、耕作放棄地で予算



もない。先に退職して私の実家の畑を手伝ってくれている夫との農作業の経験に不思議な縁を感じ、秘密裏に畑づくりを始め

ました。

持ち込めないトラクターは地元の方に作業をお願いし、運べる農機具や肥料などは実家から持ち込み、手探りの作業。失敗しながら夫や同僚と力を合わせ、迎えた真夏の撮影初日。真っ青な空の下、そこには真っ白なそばの花が咲き誇っていました。

この光景を目にした時、三十数年前の記憶が鮮やかに蘇りました。当時、北海道で「よさこいソーラン祭り」を成功させた学生120人が、本場での宿泊先に困っていました。先輩からの相談を受け、土佐山田町の施設を貸し出せるよう受け入れに奔走したあの日々。「これは仕事だろうか?」と悩みながら動いたあの時も、今と同じような思いの中にいたのだと気づかされました。

退職を目前に控え、『あんばん』を観ては笑い、泣き、豊かな時間を過ごす事ができました。この素晴らしい作品の末席に、香美市の美しい風景を残せたことは、本当に幸せで感謝しています。

広告

「米国ユタの地に立ち、歴史と向き合う」

山本 圭 (29期)

私は高知県土佐市戸波に母方のルーツをもつ。祖母や母の話によれば、高曾祖父母の代に事業の失敗や親族間のもめごとがあり、それが直接の原因かは定かではないが、1917年に一族の約半数が米国サンフランシスコへ渡ったという。100年以上前の詳細は分からないものの、その子孫同士の交流は現在も続いており、親族としての関係は良好に保たれている。昨年、正月、日系二世の叔父から、6月に日系二世から四世にわたる親族が集まり、ユタ州の収容所跡地を訪れて戦時中の出来事を若い世代に伝える機会を設けたいと誘われた。当初は多忙な時期と重なるため辞退したが、日程を調整すれば参加可能と分かり、今後の親族間の交流のため



トパーズ収容所跡地にて親族達と

にも重要な機会と考え、娘とともに参加することにした。

2025年6月、ユタ州ソルトレイクシティに集合し、チャーターバスでデルタの町へ向かった。乾いた大地と強い日差しの中、かつて約12,000人の日系アメリカ人が収容された収容所跡地に立つと、過酷な環境の中で自由を奪われた人々の歴史の重みを実感した。同行した80歳の叔母はこの地で生まれたという。現地のトパーズ戦争収容博物館の展示からは、人々の苦悩や葛藤、そして日常を守ろうとした強さが伝わってきた。

前日には娘とアーチーズ国立公園を訪れ、1億5千万年という長い年月が生み出した雄大な景観に圧倒された。しかし、4泊7日(機中2泊)の旅の影響は大きく、帰国後はしばらく時差ぼけに加えて咽喉炎にも悩まされたが、それを差し引いても非常に有意義で心に残る旅であった。



アーチーズ国立公園にて

QRコード使ってますか？

森本 敏生 (31期)



みなさんこんにちは。第31期の森本と申します。学芸で学んだ日々を懐かしく思いながら寄稿いたします。私は卒業後、愛知県の大学に進学し、愛知の会社に就職しました。高知より愛知の生活の方が長くなりましたが、帰省するたびに、変わっていく街並みに驚き、変わらない風景に懐かしさを感じています。

ところでみなさんは、QRコードをご存じですか？おそらく、知らない方はいないほど、日常的に目にするものだと思います。私の仕事はQRコードを作っています。最近ではQRコードの開発についてテレビで放送されていたので、視聴された方も多いのではないのでしょうか。私は、QRコードをさらに進化させるために、規格化の推進

や読み取り機器の設計に携わっています。

このQRコードですが、2023年に長方形の形をした新しいQRコードが国際規格に登録されました。規格取得までには、仕様の提案から各国代表による投票までのプロセスがあり、約5年の歳月をかけて登録されました。まだ見かける機会は少ないと思いますが、もし見かけることがあれば、この記事を思い出していただくと幸いです。

最後になりますが、QRコードの読み取りには、三角関数や連立方程式、微分・積分など、多くの数学を活用しています。高校時代、橋本先生に教えていただいたときには何に使うのかわからず、公式を丸暗記していた記憶がありますが、身近に使われている数学に思いを巡らせてみてはいかがでしょうか。

「柔道と共に」

中田 善久 (35期)



長兄・勝久(31期)の背中を追い、高校から学芸に進学しました。文武両道を目指して入学しましたが、1年生の頃から柔道に熱中しました。恩師・門田幸延先生ご指導のもと、先輩方にも鍛えて頂きました。稽古疲れのため授業中に寝てしまうこともあり、先生方には大変ご迷惑をおかけいたしました。3年生の時には目標としていたインターハイ個人戦中量級で3位に入賞することができました。仲間と一緒に柔道に打ち込む日々は青春そのもの。今の私の土台となっています。

大学、実業団と現役を続け、体重別で日本一を目指しましたが、その夢は叶いませんでした。あと一步届きそうで届かない、夢の舞台を遠く感じた現役生活でした。

現在は仕事の傍ら長兄の母校一橋大学で柔道の指導をしています。不思議なことに門田先生に教わったことをそのまま大学生に伝えることがあります。天国から門田先生が私に指導してくれているのかもしれない。年に1度夏に帰省しますが、そのときには自分たちが汗を流した柔道場で中高生と一緒に稽古をします。柔道を通じて学芸の後輩達と関われることに幸せを感じております。30歳で現役を引退して今年で20年。6月にはマスターズに出場予定で現役時代叶わなかった日本一に挑戦します。

※関東在住で柔道愛好家の方がいらっしゃいましたら、いつでも東京都国立市にある一橋大学柔道場へお越し下さい。一緒に柔道を楽しみましょう!!

全国に宿毛の「美味しい」を届けたい

武内 清人 (35期)

1991年4月、念願の学芸高校に宿毛市から入学しました。当時の養正寮に入り、期待と不安でいっぱいだった事を覚えています。しかし、その不安はすぐに解消され、友人と楽しい毎日を過ごせることができました。卒業から30年以上経った今でも寮の仲間と高知市内に集まり交流を続けています。

さて、私についてですが、関西の大学を卒業後、京都の会社に入社しました。全国規模の転勤があり、在籍した10年間で8回の転勤を経験しました。

35歳で宿毛市に帰ることを決め、地元の商工会議所に入所しました。高知に帰って強く感じたことは、学芸出身の方々が多く、仲間意識が強く、年代問わず、仕事や、飲み会、ゴルフなど交流していることが素晴らしいということです。

その後、皆様のお力添えもあり、43歳でコンサルタント業をする為、起業しました。その矢先、あの恐ろしいコロナウィルス感染拡大です。地域の基幹産業である魚

の養殖業者と柑橘栽培農家が大打撃を受けていました。出荷が止まり、余剰商品の廃棄や処分販売が始まりました。

弟が真鯛の養殖業者ですので、加工品にして、全

国に宿毛の「美味しい」を届けたいと考え、2022年に(株)N'sファクトリーという加工場の取締役になり、「地域の美味しいものを全国の消費者に届けたい」を理念に宿毛で加工した商品を全国に販売しています。

僕の郷土愛は学芸の仲間と学んだ、学芸の先輩方から頂いた、大切な財産となりました。



広告

「塾講師から見た母校」

津野 冬樹 (47期)

こんにちは。47期卒業の津野です。2度目になるこの卒業生便りへの寄稿、ありがたく筆をとらせていただきました。

現在私は土佐塾瀬戸教室の教室長を務めております。子ども達の成長に関われる喜びを日々噛みしめています。今年の2月まで8年間は安芸教室の教室長を務めさせていただきました。笑いあり涙ありの、とても幸せな8年間でした。

そんな中で当然、学芸へ進学した卒塾生もいます。安芸教室の塾生や保護者様の学芸に対するイメージとして、まず「遠い!」があります。これは仕方ないですね。しかし、学校説明会やオープンスクールに参加した塾生、保護者様、そして入学した卒塾生…学芸のことを知れば知るほど「面倒見の学芸」は健在であることを実感していただいています。

私の在学当時と比べると、学芸の先生方の顔ぶれも大分変わっています。しかし、厳しくも愛のあるご指導を

していただいた当時と比べて、その意味では何も変わっていないようです。卒塾生は個性豊かな先生方のご指導の下、多くの友人に恵まれ、充実した学芸ライフを送っています。

昨今の教育事情は複雑で、学校だけでなく、塾でも子どもと講師の関係性は昔と異なる部分があります。しかしそんな中でも学芸の「親身になるが甘やかさない」先生方の姿勢はいつまでも続いてほしいことと、「47期の同窓会、やってみたいな」なんて、私のキャラ不相応なことを思う今日この頃です。



「枠を超えて、自分の道をつくる」

澤田 侑樹 (53期)



私は、学芸高校を卒業後、大阪市立大学工学部建築学科に進学し、大学院では都市系の分野を学びました。

現在はFindUpの代表として、就活支援事業「内定コンサル」を中心に、新卒の人材紹介や企業向けの採用コンサルティング事業を展開しています。年間約1万人近い学生に情報を届け、そのうち約五百名の学生にはマンツーマンで就職活動の支援を行っています。その体制を整えるために、大手企業の人事経験者や面接官経験者、キャリアコンサルタントの方々にも就活支援のスキルをお伝えし、質の高いサポートを届ける仕組みづくりに力を入れています。

私自身、就活生だった頃は、TOEICは400点ほどで、

部活動や留学といった分かりやすい実績もありませんでした。それでも、自分なりに企業研究や伝え方を工夫し、「自分をどう表現するか次第で道は切り開ける」と実感しました。その結果、総合商社の双日に内定し、入社後はインドネシアで都市開発に関わる貴重な経験もさせていただきました。

こうした経験を通じて強く感じたのは、人の可能性は最初から決まっているものではないということです。だからこそ今は、自分の経験をもとに、可能性を広げたい学生や企業を支える仕事に取り組んでいます。

後輩の皆さんにも、「自分で思ったこと、考えたことしか現実にはならない、だからこそ自分が自分の可能性を信じて考え続ける」ということを大切にしてほしいと思います。ぜひ枠におさまらず、自由な発想で、自分のやりたいことを実現してってください。

広告

「室戸の恵み」

高瀬 寛史 (55期)

高校卒業後、県外の大学に進学し就職後も地元に戻ってくるとは思っていませんでした。ですが県外で暮らすことで室戸の食材の魅力を再認識し、より多くの方に室戸の恵みを味わってほしいと思い室戸に帰ってきました。

「釜めし初音」は創業80年の歴史があるお店です。室戸の海で獲れた新鮮な魚をふんだんに使い、注文ごとに一釜ずつ丁寧に炊き上げる釜めしは、代々守られてきた味わいある自慢の一品です。ふっくらと炊き上がったご飯に魚の旨みが染み込み、蓋を開けた瞬間に広がる香りは、初音ならではの特別な魅力があります。地元の方には懐かしく、観光で訪れた方には室戸の豊かさを感じていただけます。また釜めしだけでなく室戸沖で獲れた鮮度のいいお刺身や昔から愛される鶏のタレ焼きな

ど自慢の一品がたくさんあります。

四代目として「釜めし初音」の伝統を守り、室戸の食材の魅力をより多くの方に知っていただけるように精進してまいります。



広 告

10期B組 10期B組同窓会

B組 門田 義仁

2025(令和7)年6月13日(金)に、10期B組の同窓会を行いました。場所は、高知市の酒菜浪漫亭高知本店で、12時から15時までの昼間に、オーナーをお願いして開けていただきました。県外からの帰省者2名を含め、16名の校友が集まりました。昨年10期全体の同窓会を開催していたにもかかわらず、時間が足りないくらいでした。2次会をすぐ近くのスナックをお願いしていたので、15時から17時まで会話に途切れがないほどでした。カラオケなど誰も見向きもせず、ただただ話に夢中になっていました。これぐらいの人数が全員と会話ができるので、来年からもこの会をよろしく願いしますとの締めで終了しました。



12期 お花見同窓会開催

E組幹事 坂本 紀子

桜満開の時期、2026(令和8)年4月3日金曜日、昨年に引き続き高知城ホールで同窓会を開催しました。昨年よりも11名も多い57名の参加、また今年も尾崎光市先生に出席して頂き、歳月の流れも忘れてしまうような楽しいひとときの集まりでした。

テーブルでの対話を大事にし、できるだけ多くの時間を取るようにしましたが、遠く、県外から来られた方々には、壇上にも上がってもらい、顔見せの時間もありました。名札を見ながら、久しぶりに会う人、卒業以来の人など、半世紀近くの時が一瞬にして、縮まった本当に懐かしい有意義な場ではなかったかと思います。

出席者へのアンケートを行い、これからの同窓会への



意見などを聞き、来年も開催することを幹事会で決めましたので、「また、一年後にみんなあ!会うぜよ!」

「2027年4月18日(日)12時 高知城ホール」で待ちゆうき!

広 告

25期

□□□□□□□□□□□□□□□□

4期 同窓会のご案内

高知学芸高校 4期生2026年同窓会のご案内

下記の日程で同窓会を開催することになりました。ご案内いたします。多くの皆様のご参加を期待しております。

記

日時：2026(令和8)年11月3日(文化の日)
午後5時～7時

場所：高知会館
高知市本町5-6-42 県庁前電停南
電話(088)823-7123

会費：7,000円(他の経費はクラスごとに設定)

※個別のご案内は6月末までに届いていることと
思います。

クラス幹事：山崎英雄・永野雄敏・竹本光男・
平井雅章・傍士雅子

以上

10期 同窓会のご案内

学校行事

令和8年度高校体育祭

9月16日に高校の体育祭を行いました。6月下旬に体育祭実行委員会を立ち上げ、約2ヶ月間準備をしてきました。今年度は応援合戦を準備日に行いました。

令和8年度高校研修旅行

10月28日から10月31日まで、高校2年生は3泊4日の研修旅行に行ってきました。概ね天気も良く、予定通り全日程を終えることができ、思い出に残る素晴らしい旅行となりました。

令和8年度高校卒業式

1月30日第67回高知学芸高等学校卒業式を執り行いました。静寂に包まれた体育館にて、学芸賛歌斉唱、卒業証書授与、賞記授与、学校長式辞、理事長挨拶、後援会長祝辞、在校生送辞、卒業生答辞の順で粛々と式が進みました。卒業生答辞では川崎健登くんが、学業や部活動に励んだ学校生活を振り返り、今まで支えてくれた家族、教員、後輩、そして同輩に感謝を述べながら在校生へ力強いメッセージを送ってくれました。



生徒の受賞・活動

放送部 2部門で優勝 5部門で全国大会出場

6月15日に行われた第59回高知県高校放送コンテスト兼第72回NHK杯全国高校放送コンテスト高知県大会で、放送部が以下の成績を収めました。

- ◆校内放送研究発表部門 最優秀賞「めざせ無声化マスター!」→全国大会出場
- ◆朗読部門 第1位 森夏奈さん(当時3年・67期)→全国大会出場
第3位 大原悠璃さん(当時2年)→全国大会出場
- ◆アナウンス部門
第3位 中野紗和さん(当時2年)→全国大会出場
第4位 松崎絵美理さん(当時3年・67期)→全国大会出場
第5位 嶋村諒大くん(当時3年・67期)→全国大会出場
第6位 釣井琴花さん(当時2年)→全国大会出場
- ◆ラジオドキュメント部門
第4位「コトバの壁を越えて」→全国大会出場
- ◆テレビドキュメント部門
第4位「教えて!校長先生」→全国大会出場

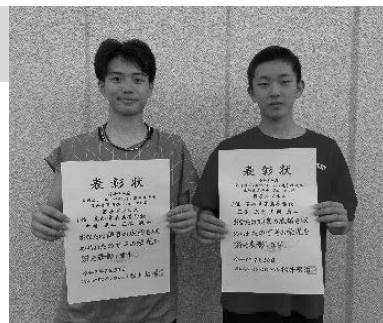


男子ハンマー投 高知県高校新記録

国民スポーツ大会高知県選考会、男子ハンマー投で福井陽満くん(当時2年)が53m18を投擲し、高知県高校新記録を樹立しました。

男子バドミントン部 全国大会出場

7月30日に行われた「全日本ジュニアバドミントン選手権大会高知県予選」ジュニアの部男子ダブルスで三谷遙士くん(当時2年)・片岡慶二くん(当時2年)が優勝し、9月12日から北海道釧路市で行われた全国大会へ出場しました。



コーラス部 Nコンも金賞受賞、四国大会へ

夏季バドミントン選手権大会 団体2位 シングルス3位

8月18～20日に行われた夏季バドミントン選手権大会で男子バドミントン部が団体2位、シングルスでは三谷遙士くん(当時2年)が3位に入賞しました。



男子バレーボール部 夏季大会 第3位

8月30～31日に開催された夏季大会で、男子バレーボール部が第3位となりました。



コーラス部 全日本合唱コンクール 今年も全国大会へ

8月30～31日に、愛媛県西条市総合文化会館で第78回全日本合唱コンクール四国支部大会(第65回四国合唱コンクール)が行われ、高等学校部門Aグループ金賞を受賞し、10月25～26日に富山県のオーバード・ホールにて行われた全国大会へ出場しました。



第49回学芸書道全国展 入賞

第49回学芸書道全国展(東京学芸大学書道科硯心会)で、濱田華凜さん(当時1年)が硯心会理事長賞を、中谷友妃寧さん(当時1年)、清岡千夏さん(当時1年)、大地真央さん(当時2年)が硯心会奨励賞を受賞し、作品が8月23～29日に東京都美術館に展示されました。



高知県学年別水泳競技大会 入賞

9月14日に第10回高知県学年別水泳競技大会が行われ、本校選手が多数入賞しました。大会最優秀選手賞には高田涼介くん(当時2年)が、選ばれました。入賞選手は以下の通りです。

高校2年男子200m個人メドレー	第2位	北村直亮くん
高校1年男子50m平泳ぎ	第3位	田中智章くん
高校2年男子50m自由形	第1位	高田涼介くん
高校1年女子50m自由形	第2位	野田明愛さん
高校1年女子400m個人メドレー	第1位	野田明愛さん
高校2年男子200m自由形	第1位	高田涼介くん
高校1年男子200m自由形	第1位	小松慎太郎くん
高校1年男子400m自由形	第1位	小松慎太郎くん
高校1年男子100mバタフライ	第2位	小松慎太郎くん
高校2年男子100m自由形	第1位	高田涼介くん
高校1年女子100m自由形	第2位	野田明愛さん



男子バレーボール部 高知支部大会 優勝

9月28日に行われた高知県高等学校高知支部体育大会において男子バレーボール部が優勝しました。



美術部 高知県展で受賞・入選

第79回高知県展で、美術部生徒が次の通り受賞・入選しました。

◆洋画部門

新人賞 「眠る群青」北川 瑠唯さん(当時1年)
入 選 合田彩芽さん(当時2年)、竹崎夏碧さん(当時2年)、戸梶來夢さん(当時2年)、伊藤里衣子さん(当時1年)、平野妃那子さん(当時1年)、早岡佑納さん(当時1年)

◆グラフィックデザイン部門

入 選 福原菜奈子さん(当時1年)

陸上部 第79回国民スポーツ大会出場

9月28日から滋賀で開催された国民スポーツ大会に以下の選手が出場しました。

◆陸上競技

少年男子A300m 山下航介くん(当時2年)
少年男子Aハンマー投 福井陽満くん(当時2年)



四国高校新人陸上 優勝

10月11～12日(日)、香川県立丸亀陸上競技場で開催された四国新人陸上大会で男子ハンマー投 福井陽満くん(当時2年)と、男子400m 山下航介くん(当時2年)が優勝しました。



国民スポーツ大会馬術競技 入賞

金子ゆきのさん(当時1年)が兵庫県で開催された国民スポーツ大会の馬術競技にて、トップスコアで4位、リレーで7位に入賞しました。



高等学校空手道冬季大会 3位入賞

11月3日に行われた高知県高等学校空手道冬季大会で坂口未空さん(当時2年)が女子個人組手53kg級で3位に入賞しました。



高知県高等学校テニス新人大会(冬季大会) 男子団体・ダブルス準優勝

10月26日に行われた2025年度高知県高等学校テニス新人大会(冬季大会)で、2年連続で四国大会に出場しました。



高等学校柔道新人大会 男子団体3位入賞、個人優勝、四国大会出場



11月2日、高知県立武道館で開催された高知県高等学校柔道新人大会にて以下の素晴らしい成績を残し、四国大会へ出場しました。

- 男子団体 第3位 江口輝馬くん(当時2年)・中山誠一朗くん(当時1年)・福田礼くん(当時2年)
脇本麟くん(当時1年)・中川絢斗くん(当時2年)・青木隆士郎くん(当時2年)
- 男子個人 81kg級 優勝 脇本麟くん
81kg級 第3位 中川絢斗くん
73kg級 第3位 福田礼くん
66kg級 第3位 青木隆士郎くん
60kg級 第3位 中山誠一朗くん

高等学校弓道冬季大会 男子団体優勝

11月1～2日に高知県弓道場で行われた全国高校選抜大会予選を兼ねた県高校弓道冬季大会で弓道部男子が団体11年ぶり3度目の優勝を果たし、12月に静岡県で行われる全国大会に出場しました。



男子バドミントン部 秋季大会 団体優勝 ダブルス優勝

11月8～9日で行われた高知県高等学校秋季バドミントン選手権大会で、男子バドミントン部が団体戦で32年ぶりの優勝を果たし、3月24日から香川県で開催される全国高等学校選抜バドミントン大会へ出場しました。



また、ダブルスでは片岡・三谷組が優勝を収めました。

- 団体メンバー 片岡慶二くん(当時2年)、三谷遥士くん(当時2年)、山本健斗くん(当時2年)、手嶋颯樹くん(当時2年)、岡田祐来くん(当時2年)、中山晴登くん(当時2年)、坂本光紀くん(当時2年)、福元悠真くん(当時2年)

美術部 高校美術展で受賞

第48回高知県高等学校総合文化祭の美術・工芸部門である第70回高校美術展で、美術部が以下の通り受賞しました。

●最優秀賞

(全国高等学校総合文化祭出場決定)

合田彩芽さん(当時2年)

浅野小梅さん(当時1年)

●奨励賞

齋田真那さん(当時2年)

●高校美術展ポスター佳作

萩原蒼葉さん(当時3年・67期)

放送部2部門で全国大会へ出場

第34回高知県高等学校秋季放送コンテスト兼第50回全国高等学校総合文化祭放送部門高知県代表選抜会が行われ、以下の結果を収めました。

アナウンス部門

第3位 中野紗和さん(当時2年)

朗読部門

第2位 藤本花菜さん(当時1年)

第3位 中平綾乙さん(当時2年)

オーディオメッセージ部門 第2位



アナウンス部門と朗読部門で入賞した3名は、7月末に秋田県大仙市で行われた全国大会へ出場しました。

高校剣道秋季大会 男子団体準優勝

11月15日(土)、16日(日)に県立武道館で、全国選抜剣道大会の予選を兼ねた高知県高校剣道秋季大会が行われ、男子団体が準優勝を果たし、1月31～2月1日に行われた四国選抜大会に出場しました。個人戦でもベスト8に入った小川颯斗くん(当時1年)が四国大会に出場しました。



映画研究部 優秀作品賞 全国第2位

12月14日高校生製作映画の頂点を決める「NPO法人映画甲子園」主催、『高校生のためのeigaWorldcup2025』の最終審査結果発表及び表彰式が東京富士大学で行われ、本校から出品された『夏と修羅』が作品賞部門で全国第2位にあたる「優秀作品賞」を受賞しました。また、部門賞としても「最優秀美術賞」や「優秀脚本賞」、演技部門の特別賞などを受賞しました。

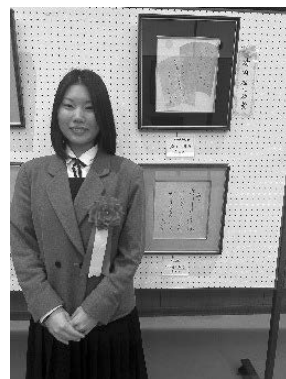
高校放送部 朗読コンテストで準優勝

12月14日に愛媛県松山市で行われた第7回田丸雅智朗読コンテストで、放送部の藤本花菜さん(当時1年)が高校の部で2位に入賞しました。



書道部 寧浦全国色紙展入賞

第32回寧浦全国色紙展で、岩上樹乃さん(当時2年)が清岡治之助賞を受賞しました。



全国高等学校柔道選手権大会県予選 男子団体3位 個人81kg級優勝 全国大会出場

柔道の全国高校選手権予選をかねた県冬季大会が1月11日に高知県立武道館で行われ、以下の成績を残しました。

男子団体 第3位 江口輝馬くん(当時2年)、中山誠一朗くん(当時1年)、
福田礼くん(当時2年)、脇本麟くん(当時1年)、
中川絢斗くん(当時2年)、青木隆士郎くん(当時2年)

男子個人 81kg級 優勝 脇本麟くん
81kg級 第2位 中川絢斗くん
73kg級 第3位 福田礼くん

なお、この結果を受けて、脇本くんは3月27日、28日に日本武道館で行われた全国大会に出場しました。



男子バレーボール部 冬季大会 第3位

1月17～18日に高知県高等学校バレーボール冬季選手権大会が開催され、男子バレーボール部が第3位に入賞しました。



コーラス部 全国大会4年連続で出場

1月25日に、高知市文化プラザかるぽーと四国銀行ホールで第29回高知合唱アンサンブルコンテストが行われ、金賞を受賞し、3月19～20日に福島県で行われた全国大会へ出場しました。



中高オープン冬季卓球大会 第3位

1月25日中高オープン冬季卓球大会で、学芸Aチーム菅玲音くん(当時2年)、笹岡賢一朗くん(当時2年)、東野宥司くん(当時1年)、久永悠人くん(当時1年)が第3位になりました。



男子バドミントン部 冬季大会ダブルス優勝 四国予選団体 ダブルス3位

1月10～11日に行われた高知県高校冬季バドミントン選手権大会で以下の成績をおさめました。

男子ダブルス優勝 片岡慶二くん(当時2年)・三谷遙士くん(当時2年)

男子シングルス準優勝 三谷遙士くん(当時2年)

また1月17～18日に行われた全国高等学校選抜バドミントン大会四国地区予選で以下の成績をおさめました。

男子団体 3位

男子ダブルス3位 片岡慶二くん(当時2年)・三谷遙士くん(当時2年)

この結果を受け、3月24日から香川県で行われた、全国大会に出場しました。団体戦の本校の出場は34年ぶり2回目の出場となります。



第11回高校生国際シンポジウムに出場

高校生国際シンポジウムは全国で進められている課題研究、探究活動の発表会および審査会です。人文社会学の研究から自然科学や数学、ビジネスの分野までの幅広い分野の研究成果をスライド部門またはポスター部門にて発表します。

今年は2年生から9テーマ、高校1年生から1テーマ、合計10テーマをエントリーし、書類審査の結果、高校2年生より4テーマ(8名)、高校1年生より1テーマ(4名)が出場しました。

5テーマの出場は本校としては過去最多で、中でも1年生チームが出場するのは初めてのこととなります。

研究発表だけでなく、基調講演やパネルディスカッション、研修会、交流会、進路に関する座談会などがあり、大変充実した学びの場となりました。

出場生徒たちも、研究のこれからの展開や、進路実現に向けて、内発的動機による自分の中の「軸」を見つけるヒントを得た様子でした。

何より、「今まで課題研究を続けていてよかった!」「シンポジウムがとても楽しかった!」という声を生徒たちから聞いたことがうれしく、探究に取り組む大切な意義であると再確認できた貴重な機会となりました。

出場生徒たちも、研究のこれからの展開や、進路実現に向けて、内発的動機による自分の中の「軸」を見つけるヒントを得た様子でした。



☆出場研究テーマ☆

スライド発表

声だけで伝える情報の印象形成 ～校内放送における話速の影響～ 中平綾乙さん(当時2年)

ポスター発表

オリジナル紙芝居『ピーマンくんのだいへんしん』で子ども達の意識は変身させられる!?

安岡花菜さん、下田結月さん(当時2年)

「もったいない」はどこから生まれるのか ～高知県における食品ロス意識の形成要因とは～

大原心芭瑠さん、端村心花さん、川上優奈さん、三宮楓さん(当時2年)

アメリカバーモント州における無宗教者の増加と学歴との関係性について

河本初花さん(当時2年)

朝倉地区の豪雨浸水想定に関する地形的アプローチ —3Dモデリングによる豪雨想定実験—

浅野小梅さん、吉良千里さん、刈谷柝音さん、吉門美波さん(当時1年)

令和8年度 高知県高等学校体育大会 結果

2026年度大学入試をふりかえって

高校進路指導部 横山 珠理

2年目は難化するというジンクスの通り、新課程2年目の共通テストは、対前年で25・86点ダウン、共通テストの歴史を見ても、やや大きめのダウンとなりました。難化した国語、情報、数ⅠA、物理、英リスニングのうち、数ⅠAと物理では、平均点が50点を下回り、その結果、文系、理系ともに高得点者が減少、特に理系は減少幅が大きい。

大きく、6割以下の得点者が大幅に増加しました。共通テストが難化したことで、最上位層以外は志望校変更を余儀なくされ、全国的に現役志向の強い出願となりました。本校の国公立大合格者は一七八名。そのうち、現役生のみは一五九名で、昨年の現役生のみ合格者数一四〇名を超える成果を上げています。六七期生は

現役志向が強くなると、最難関大へ挑戦するあと一步の決断が鈍りがちです。今年、京都大に二浪生が2名合格。様々な困難を克服し、どうしても譲れない進路を実現した二人。夢をかなえる気概と執念は見習うべきものがあります。生徒がそれぞれの譲れない進路を見つけて出すことができるように、学芸の教育活動を通じてさまざまな進路のタネを蒔いていきたいと考えています。今後ともご協力のほどをお願い致します。

国公立大専願者が多く、併願先として私立大を受験しない生徒が例年に比べて多い学年でした。そのため、私立大の合格者は大きく減少しています（昨年508名合格のうち現役434名↓今年355名合格のうち現役274名）。一方、難関国立10大学では、現役生のみで計16名（昨年11名）が合格。中でも大阪大に4名、神戸大に9名。他にも、国立大の中で5年連続志望者最多の大阪公立大に7名、岡山大に15名が現役合格しています。

国公立大専願者が多く、併願先として私立大を受験しない生徒が例年に比べて多い学年でした。そのため、私立大の合格者は大きく減少しています（昨年508名合格のうち現役434名↓今年355名合格のうち現役274名）。一方、難関国立10大学では、現役生のみで計16名（昨年11名）が合格。中でも大阪大に4名、神戸大に9名。他にも、国立大の中で5年連続志望者最多の大阪公立大に7名、岡山大に15名が現役合格しています。

現役志向が強くなると、最難関大へ挑戦するあと一步の決断が鈍りがちです。今年、京都大に二浪生が2名合格。様々な困難を克服し、どうしても譲れない進路を実現した二人。夢をかなえる気概と執念は見習うべきものがあります。生徒がそれぞれの譲れない進路を見つけて出すことができるように、学芸の教育活動を通じてさまざまな進路のタネを蒔いていきたいと考えています。今後ともご協力のほどをお願い致します。

総計

	R6(65期)	R7(66期)	R8(67期)
卒業生数	249	276	252
国公立大学	153	179	178
国公立医学科	5	8	6
難関10大学※	12	18	21
岡山大+広島大	9	14	20
四国内国公立大学	79	83	80
早・慶・上智	7	10	9
関・関・同・立	94	94	65

(過年度卒業生含む)

※旧7帝大に東京科学大・一橋大・神戸大を加えたもの

主要大学過去3年間の合格者数

5月7日現在

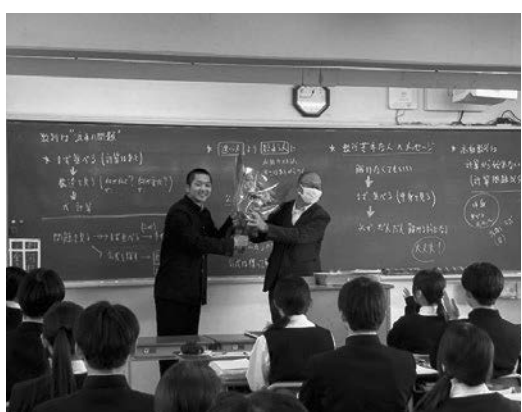
国立	R5	R6	R7	私立	R5	R6	R7
大工大	1	2	1	大工大	7	1	1
大工大	1	1	1	大工大	1	2	1
大工大	2	1	2	大工大	1	1	1
大工大	2	1	1	大工大	2	3	1
大工大	2	3	1	大工大	2	1	2
大工大	3	3	1	大工大	2	1	2
大工大	1	1	1	大工大	3	1	1
大工大	1	2	2	大工大	3	1	1
大工大	1	1	1	大工大	5	3	10
大工大	1	1	1	大工大	2	2	4
大工大	1	1	1	大工大	1	1	1
大工大	2	1	1	大工大	5	13	16
大工大	2	1	1	大工大	4	1	4
大工大	2	1	1	大工大	3	2	1
大工大	2	1	1	大工大	3	3	3
大工大	1	1	1	大工大	8	13	12
大工大	1	1	2	大工大	18	8	9
大工大	2	3	3	大工大	28	35	25
大工大	1	3	3	大工大	1	2	3
大工大	1	2	1	大工大	1	1	1
大工大	2	6	5	大工大	1	1	1
大工大	5	3	10	大工大	1	1	1
大工大	1	1	1	大工大	1	1	1
大工大	2	1	1	大工大	5	13	16
大工大	3	2	5	大工大	4	1	4
大工大	2	6	2	大工大	3	2	1
大工大	3	10	4	大工大	3	3	3
大工大	1	1	1	大工大	8	13	12
大工大	2	1	1	大工大	18	8	9
大工大	3	3	3	大工大	28	35	25
大工大	1	1	1	大工大	1	2	3
大工大	2	6	5	大工大	1	1	1
大工大	5	3	10	大工大	1	1	1
大工大	1	1	1	大工大	1	1	1
大工大	2	1	1	大工大	5	13	16
大工大	3	2	5	大工大	4	1	4
大工大	2	6	2	大工大	3	2	1
大工大	3	10	4	大工大	3	3	3
大工大	1	1	1	大工大	8	13	12
大工大	2	1	1	大工大	18	8	9
大工大	3	3	3	大工大	28	35	25
大工大	1	1	1	大工大	1	2	3
大工大	2	6	5	大工大	1	1	1
大工大	5	3	10	大工大	1	1	1
大工大	1	1	1	大工大	1	1	1
大工大	2	1	1	大工大	5	13	16
大工大	3	2	5	大工大	4	1	4
大工大	2	6	2	大工大	3	2	1
大工大	3	10	4	大工大	3	3	3
大工大	1	1	1	大工大	8	13	12
大工大	2	1	1	大工大	18	8	9
大工大	3	3	3	大工大	28	35	25
大工大	1	1	1	大工大	1	2	3
大工大	2	6	5	大工大	1	1	1
大工大	5	3	10	大工大	1	1	1
大工大	1	1	1	大工大	1	1	1
大工大	2	1	1	大工大	5	13	16
大工大	3	2	5	大工大	4	1	4
大工大	2	6	2	大工大	3	2	1
大工大	3	10	4	大工大	3	3	3
大工大	1	1	1	大工大	8	13	12
大工大	2	1	1	大工大	18	8	9
大工大	3	3	3	大工大	28	35	25
大工大	1	1	1	大工大	1	2	3
大工大	2	6	5	大工大	1	1	1
大工大	5	3	10	大工大	1	1	1
大工大	1	1	1	大工大	1	1	1
大工大	2	1	1	大工大	5	13	16
大工大	3	2	5	大工大	4	1	4
大工大	2	6	2	大工大	3	2	1
大工大	3	10	4	大工大	3	3	3
大工大	1	1	1	大工大	8	13	12
大工大	2	1	1	大工大	18	8	9
大工大	3	3	3	大工大	28	35	25
大工大	1	1	1	大工大	1	2	3
大工大	2	6	5	大工大	1	1	1
大工大	5	3	10	大工大	1	1	1
大工大	1	1	1	大工大	1	1	1
大工大	2	1	1	大工大	5	13	16
大工大	3	2	5	大工大	4	1	4
大工大	2	6	2	大工大	3	2	1
大工大	3	10	4	大工大	3	3	3
大工大	1	1	1	大工大	8	13	12
大工大	2	1	1	大工大	18	8	9
大工大	3	3	3	大工大	28	35	25
大工大	1	1	1	大工大	1	2	3
大工大	2	6	5	大工大	1	1	1
大工大	5	3	10	大工大	1	1	1
大工大	1	1	1	大工大	1	1	1
大工大	2	1	1	大工大	5	13	16
大工大	3	2	5	大工大	4	1	4
大工大	2	6	2	大工大	3	2	1
大工大	3	10	4	大工大	3	3	3
大工大	1	1	1	大工大	8	13	12
大工大	2	1	1	大工大	18	8	9
大工大	3	3	3	大工大	28	35	25
大工大	1	1	1	大工大	1	2	3
大工大	2	6	5	大工大	1	1	1
大工大	5	3	10	大工大	1	1	1
大工大	1	1	1	大工大	1	1	1
大工大	2	1	1	大工大	5	13	16
大工大	3	2	5	大工大	4	1	4
大工大	2	6	2	大工大	3	2	1
大工大	3	10	4	大工大	3	3	3
大工大	1	1	1	大工大	8	13	12
大工大	2	1	1	大工大	18	8	9
大工大	3	3	3	大工大	28	35	25
大工大	1	1	1	大工大	1	2	3
大工大	2	6	5	大工大	1	1	1
大工大	5	3	10	大工大	1	1	1
大工大	1	1	1	大工大	1	1	1
大工大	2	1	1	大工大	5	13	16
大工大	3	2	5	大工大	4	1	4
大工大	2	6	2	大工大	3	2	1
大工大	3	10	4	大工大	3	3	3
大工大	1	1	1	大工大	8	13	12
大工大	2	1	1	大工大	18	8	9
大工大	3	3	3	大工大	28	35	25
大工大	1	1	1	大工大	1	2	3
大工大	2	6	5	大工大	1	1	1
大工大	5	3	10	大工大	1	1	1
大工大	1	1	1	大工大	1	1	1
大工大	2	1	1	大工大	5	13	16
大工大	3	2	5	大工大	4	1	4
大工大	2	6	2	大工大	3	2	1
大工大	3	10	4	大工大	3	3	3
大工大	1	1	1	大工大	8	13	12
大工大	2	1	1	大工大	18	8	9
大工大	3	3	3	大工大	28	35	25
大工大	1	1	1	大工大	1	2	3
大工大	2	6	5	大工大	1	1	1
大工大	5	3	10	大工大	1	1	1
大工大	1	1	1	大工大	1	1	1
大工大	2	1	1	大工大	5	13	16
大工大	3	2	5	大工大	4	1	4
大工大	2	6	2	大工大	3	2	1
大工大	3	10	4	大工大	3	3	3
大工大	1	1	1	大工大	8	13	12
大工大	2	1	1	大工大	18	8	9
大工大	3	3	3	大工大	28	35	25
大工大	1	1	1	大工大	1	2	3
大工大	2	6	5	大工大	1	1	1
大工大	5	3	10	大工大	1	1	1
大工大	1	1	1	大工大	1	1	1
大工大	2	1	1	大工大	5	13	16
大工大	3	2	5	大工大	4	1	4
大工大	2	6	2	大工大	3	2	1
大工大	3	10	4	大工大	3	3	3
大工大	1	1	1	大工大	8	13	12
大工大	2	1	1	大工大	18	8	9
大工大	3	3	3	大工大	28	35	25
大工大	1	1	1	大工大	1	2	3
大工大	2	6	5	大工大	1	1	1
大工大	5	3	10	大工大	1	1	1
大工大	1	1	1	大工大	1	1	1
大工大	2	1	1	大工大	5	13	16
大工大	3	2	5	大工大	4	1	4
大工大	2	6	2	大工大	3	2	1
大工大	3	10	4	大工大	3	3	3
大工大	1	1	1	大工大	8	13	12
大工大	2	1					

先生は今

退職後長く時間講師された

寺尾幹夫先生最後の授業

昭和55年4月～平成19年3月 教諭(数学)
 平成19年4月～平成30年3月 教頭(数学)
 平成30年4月～令和8年3月 非講師(数学)



寺尾幹夫先生(11期生)は数学の教員として昭和55年4月から長く中学・高校で教鞭をとり、中学教頭も務められてきました。平成30年3月に退職した後は、平成30年4月から時間講師として中学や高校で教えてこられました。令和8年3月をもって時間講師からも身を引かれることになりました。

令和8年3月10日(火)の高校1年D組での授業が最後になりました。多くの教員たちも見守る中、寺尾先生は最後の授業に臨みました。授業は、数列がテーマでした。授業の後半では、数列の問題に取り組み際の心構え、ひいては高校の数学に取り組み時の大切な心掛けについて熱く生徒たちに語りかけていました。生徒たちも先生の話に熱心に耳を傾けていました。授業が終わると、先生は代表の生徒から花束を贈られ、教員や他の生徒たちも拍手を送るなか、最後の授業を終えました。本当に長い間、学芸の多くの生徒たちに数学を教えて頂き、ありがとうございました。

(文・写真・蒲原宜彦)

廣告

退職にあたって

坂本 雅代 (音楽・コーラス部顧問)



気が付けば41年、
「光陰矢の如し」と
はよく言ったもの
で、本当にあっとい
う間のことでした。

迷惑をかけこそすれ、たいして役に立った
とも誰かのためになったとも思いません
が、一生懸命過ごした41年であったことは
間違いありません。すばらしい生徒達に恵
まれ、同僚に助けられ、「もう一度生まれ
変わるならやっぱり先生になりたい」と
思えるほどに充実した日々の連続でした。
今はご縁を持ったすべての皆さんに心から
感謝を述べたいと思います。本当にありが
とうございました。

あと数年は時間講師兼学芸初のクラブ指
導員として勤務いたしますが、生徒にも音
楽にもクラブにも、今までとはまた違う向
き合い方ができるのではとワクワクしてい
ます。そして今まで皆無に近かった自分の
時間を楽しみ、次のステージに進むための
準備をしたいと思えます。

長い間、本当にありがとうございました。

新任挨拶

真摯に向き合う



この春より、本校に着任いたしました、数学科の上
野まな美と申します。中学三年生、高校一年生、二年
生の数学の授業を担当し、部活ではバスケットボール
部を担当させていただきます。

分野を中心に、数学的な考え方や理論を深く学んでまいりました。また、「な
ぜそうなるのか」を大切にしながら、数学の本質を捉える学びを重ねてきまし
た。数学は苦手意識を持つ生徒が多い教科の一つです。だからこそ、これまで
学んできた専門的な知識や考え方を、わかりやすく丁寧に伝え「わかる」「で
きる」「たのしい」という実感に繋がる授業を行っていきたいと思います。ま
だ経験は浅いですが、生徒一人ひとりと真摯に向き合い、数学の楽しさや面白
さを感じてもらえるよう、日々努力してまいります。

学生時代はハンドボール部に所属し、仲間と目標に向かって努力すること
や、支え合うことの大切さを学びました。その経験も生かし、生徒が困ってい
る時には同じ目線に立
ち、共に考え、共に成長
していける関係を築いて
いきたいと思っております。

責任をもって指導にあ
たり、生徒の成長を支え
ていけるよう努めてまい
ります。今後ともどうぞ
よろしくお願いいたし
ます。

教職員の異動

(敬称略)

2026年

○退職

坂本 雅代 (高校 音楽)
佐竹 祐次郎 (高校 英語)
佐野 洋子 (高校 事務・進学室)

○新任

上野まな美 (高校 数学)

広告

学芸NOW

2026
第32号
令和8年7月
発行

私たちの母校『学芸高校』は今こんなに頑張っています。

「きみの物語をつくろう」



高知学芸中学高等学校 校長 橋本 和紀

「きみの物語をつくろう」——本校の学校案内パンフレットの表紙に使われている言葉です。今年1月、高知学芸高等学校第67期生の卒業式を執り行い式辞で次のような話をしました。

「皆さんはこれから先、大切な場面や選択や決断を迫られることがあるでしょう。それまで君たちが自分の人生をどう歩んできたのかが、いざという時の選択に大きく影響します。ただ、その選択や決断がよいものであったかどうかは、その後の歩み方生き方で変化します。学芸での君の物語と卒業後の君の物語はつながっています。学芸での君がこれからの物語の後押しとなり、これからの君の物語によって学芸での3年間を前向きに受け止めることができるようになってほしいと願っています」卒業生総数は22863名となりました。

学芸は令和9年2月に創立70周年を迎えます。これまで土佐市と四万十市で、周年行事のプレイベントを開催しました。芸術作品の展示や音楽のコンサートには地域の皆様が参加してくださいました。ご協力いただきました同窓会の皆様に御礼申し上げます。

本校は、「やさしい人になるように、開けた人になるように、正しい人になるように、働く人になるように」というしつけの要点を土台とした全人教育を行ってまいりました。学芸に

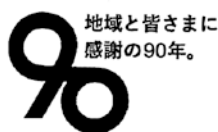
は約70年の物語があります。伝統の糸を紡ぎながら、社会の動きに対応するための変化も加えて学芸の物語はこれからも続きます。

現在、新たな取り組みとして寮のリノベーションの計画・準備を進めています。第2グラウンド横の旧アカデミー寮を改修し、女子も入居可能な寮に生まれ変わります。風呂トイレを各個室に完備した寮として令和9年4月にオープン予定です。寮にも新たな物語が加わります。

「思い出もインフラである」という言葉をラジオで聞いたことがあります。

電気、水道、ガス、通信、道路、鉄道、学校や病院など、インフラは私たちの暮らしや経済活動を支える基盤となるものです。私たちの考え方や行動には、その人が経験してきたことが少なからず影響を与えています。そういう意味では、経験に基づく思い出はその人にとって貴重なインフラと考えてよいと思います。インフラは古くなると修復が必要になるものです。「BOX学芸」の発行を含め同窓会の活動は、卒業生の皆様の「思い出インフラ」を整えることになると考えます。

今後皆様への学芸への思いにこたえられますよう教育活動につとめてまいりたいと考えております。引き続き母校への温かいご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。



地域と皆さまに
感謝の90年。

オフィスソリューションで広がる未来へ。

OKAMURA
株式会社 岡村文具

代表取締役 岡村 憲男(21期生)

〒780-0841 高知市常屋町2丁目2-22 TEL088-873-2266 FAX088-873-2268
ワークプレイス事業部 TEL088-822-0364 URL <http://www.okamura-bungu.com>